



## 平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 江崎グリコ株式会社  
コード番号 2206 URL <http://www.glico.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江崎勝久

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 松本節範

TEL 06-6477-8404

四半期報告書提出予定日 平成25年8月1日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	78,415	7.5	3,813	168.6	4,271	161.4	3,552	417.9
25年3月期第1四半期	72,953	△1.4	1,419	△59.7	1,634	△57.1	686	△67.2

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 5,536百万円 (437.3%) 25年3月期第1四半期 1,030百万円 (△58.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	31.22	—
25年3月期第1四半期	6.04	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	229,511	121,045	51.5	1,037.71
25年3月期	219,363	116,347	52.1	1,004.66

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 118,092百万円 25年3月期 114,296百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	5.00	—	10.00	15.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	5.00	—	10.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	168,000	7.2	5,700	9.9	6,000	7.3	4,100	33.8	36.03
通期	314,500	7.3	6,200	36.6	6,500	0.7	4,600	39.9	40.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	144,860,138 株	25年3月期	144,860,138 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	31,059,514 株	25年3月期	31,093,973 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	113,780,308 株	25年3月期1Q	113,618,543 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
第1 四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年6月30日）におけるわが国経済は、輸出環境の改善や経済対策、金融政策の効果等を背景に、一部には景気回復の兆しが見えてはいるものの、海外景気の下振れや国内での雇用・所得環境の先行き等が懸念され、依然として不透明な状況が続いております。食品業界におきましては、円安による原材料価格の上昇や消費者の根強い価格志向等によって、引き続き厳しい競争が続いております。

このような状況の中で、当社グループは、主力品の売上拡大や新製品・系列品の発売、店頭での特売対策等を積極的に展開いたしました。

その結果、売上面では、食品部門、畜産加工品部門は前年同期を下回りましたが、菓子部門、冷菓部門、牛乳・乳製品部門等が前年同期を上回ったため、当四半期連結売上高は78,415百万円となり、前年同期（72,953百万円）に比べ、7.5%の増収となりました。

利益面につきましては、売上原価率は、販売品種構成の変化によるアップ要因はありましたが、タイの子会社が洪水被害から復旧したこと等により、全体ではダウンしました。販売費及び一般管理費では、量販店店頭での販売対策の実施等により販売促進費等が増加したものの、その他の経費等は減少しました。その結果、営業利益は3,813百万円で前年同期（1,419百万円）に比べ2,394百万円の増益となり、経常利益は4,271百万円で前年同期

（1,634百万円）に比べ2,637百万円の増益となりました。また、当四半期は、投資有価証券償還益及び売却益を特別損益に計上した結果、四半期純利益は3,552百万円となり、前年同期（686百万円）に比べ、2,866百万円の増益となりました。

各セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

#### ・売上の増減一覧

(単位：百万円、%)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)		増減額	対前年同期比	(参考) 前連結会計年度 (平成25年3月期)	
	金額	構成比	金額	構成比			金額	構成比
菓子	18,401	25.2	22,215	28.3	3,813	120.7	83,112	28.4
冷菓	17,060	23.4	18,775	23.9	1,714	110.1	64,812	22.1
食品	5,808	8.0	5,043	6.4	△765	86.8	24,277	8.3
牛乳・乳製品	22,636	31.0	23,454	29.9	817	103.6	86,748	29.6
畜産加工品	5,538	7.6	5,229	6.7	△309	94.4	20,740	7.1
食品原料	2,241	3.1	2,334	3.0	92	104.1	8,320	2.8
その他	1,266	1.7	1,364	1.8	97	107.7	4,990	1.7
合計	72,953	100.0	78,415	100.0	5,462	107.5	293,002	100.0

#### <菓子部門>

売上面では、“キシミントガム”、“クラッツ”等は前年同期を下回りましたが、「ポッキーグループ」等が前年同期を上回り、新製品“ビット”、“パトンドール”等も順調に売上を伸ばしました。また、海外では、洪水被害を受けたタイの子会社が復旧し、上海の子会社と同様に前年同期を上回りました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は22,215百万円となり、前年同期(18,401百万円)に比べ20.7%の増収となりました。

利益面では、タイの子会社が洪水被害から全面復旧したことや、国内での増収等により、営業利益は970百万円となり、前年同期（△252百万円）に比べ、1,223百万円の増益となりました。

#### <冷菓部門>

売上面では、“パリッテ”等は前年同期を下回りましたが、“ジャイアントコーン”、“パピコ”等は前年同期を上回りました。また、卸売販売子会社2社も前年同期を上回りました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は18,775百万円となり、前年同期(17,060百万円)に比べ10.1%の増収となりました。

利益面では、工場の操業度変動によって加工費率がアップしたことによる売上原価率のアップや、卸売販売子会社の販売価格ダウンによる粗利減等により、営業利益は1,688百万円となり、前年同期（1,720百万円）に比べ、△32百万円の減益となりました。

#### <食品部門>

売上面では、“カレー職人”、“ごはんによくあうシリーズ”等は前年同期を上回りましたが、“2段熟カレー”等のルウ製品は前年同期を下回りました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は5,043百万円となり、前年同期(5,808百万円)に比べ13.2%の減収となりました。

利益面では、減収と売上原価率のアップ等により、営業損失は△285百万円となり、前年同期(△159百万円)に比べ、△126百万円の損失増となりました。

#### <牛乳・乳製品部門>

売上面では、“朝食プロバイオティクスヨーグルト”、“ストローで食べる朝食ヨーグルト”、“ドロリッチ”等が前年同期を上回りました。一方、キリンビバレッジ(株)からの業務受託による売上は前年同期を下回りました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は23,454百万円となり、前年同期(22,636百万円)に比べ3.6%の増収となりました。

利益面では、広告宣伝費は増加しましたが、増収や販売品種構成の変化に伴う売上原価率のダウン等により、営業利益は895百万円となり、前年同期(390百万円)に比べ、505百万円の増益となりました。

#### <畜産加工品部門>

売上面では、ベーコンは前年同期を上回りましたが、ハム、ソーセージ、“パリパリサラダ”等が前年同期を下回りました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は5,229百万円となり、前年同期(5,538百万円)に比べ5.6%の減収となりました。

利益面では、販売品種と販売エリアの見直しや、人員削減、販売促進費の削減等に取り組んだ結果、営業利益は260百万円となり、前年同期(△175百万円)に比べ、435百万円の増益となりました。

#### <食品原料部門>

売上面では、“A-グル”や“CCD(サイクリッククラスターデキストリン)”等のファインケミカル製品が前年同期を上回りました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,334百万円となり、前年同期(2,241百万円)に比べ4.1%の増収となりました。

利益面では、円安による輸入原料価格の上昇の影響を受けて売上原価率がアップしたため、営業利益は144百万円となり、前年同期(169百万円)に比べ、△25百万円の減益となりました。

#### <その他部門>

売上面では、スポーツフーズ、オフィスグリコがいずれも前年同期を上回りました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,364百万円となり、前年同期(1,266百万円)に比べ7.7%の増収となりました。

利益面では、増収による増益等により、営業利益は67百万円となり、前年同期(13百万円)に比べ、53百万円の増益となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は229,511百万円となり、前連結会計年度末に比べ10,148百万円増加しました。流動資産は106,070百万円となり、10,321百万円増加しました。主な要因は、現金及び預金の増加、受取手形及び売掛金の増加、棚卸資産の増加となります。固定資産は123,441百万円となり、172百万円減少しました。主な要因は、投資有価証券の減少によるものです。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は108,466百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,450百万円増加しました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の増加、未払費用の増加となります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は121,045百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,698百万円増加しました。主な要因は、当四半期純利益3,552百万円、剰余金の配当1,137百万円、為替換算調整勘定の増加となります。この結果、自己資本比率は51.5%(前連結会計年度末比0.6%減)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、平成25年5月15日の「平成25年3月期 決算短信」で公表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたしました。

平成26年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正 (平成25年4月1日～平成25年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 166,000	百万円 4,700	百万円 5,000	百万円 3,200	円 銭 28.13
今回発表予想 (B)	168,000	5,700	6,000	4,100	36.03
増減額 (B-A)	2,000	1,000	1,000	900	—
増減率 (%)	1.2	21.3	20.0	28.1	—
(ご参考) 前期実績 (平成25年3月期 第2四半期(累計))	156,713	5,188	5,594	3,064	26.97

平成26年3月期通期連結業績予想数値の修正 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 310,000	百万円 5,200	百万円 5,500	百万円 3,700	円 銭 32.52
今回発表予想 (B)	314,500	6,200	6,500	4,600	40.42
増減額 (B-A)	4,500	1,000	1,000	900	—
増減率 (%)	1.5	19.2	18.2	24.3	—
(ご参考) 前期実績 (平成25年3月期通期)	293,002	4,540	6,452	3,287	28.91

2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	17,889	22,055
受取手形及び売掛金	33,921	37,677
有価証券	18,658	18,449
商品及び製品	9,057	10,469
仕掛品	947	1,095
原材料及び貯蔵品	9,819	10,735
その他	5,759	5,911
貸倒引当金	△304	△323
流動資産合計	95,749	106,070
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	23,513	23,498
機械装置及び運搬具（純額）	26,333	27,015
土地	15,578	15,653
リース資産（純額）	529	546
建設仮勘定	3,078	3,591
その他（純額）	3,173	3,373
有形固定資産合計	72,206	73,679
無形固定資産		
ソフトウェア	3,006	2,745
その他	544	657
無形固定資産合計	3,551	3,402
投資その他の資産		
投資有価証券	39,548	37,693
その他	8,524	8,886
貸倒引当金	△216	△221
投資その他の資産合計	47,855	46,358
固定資産合計	123,613	123,441
資産合計	219,363	229,511

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,976	35,933
短期借入金	9,950	10,133
1年内返済予定の長期借入金	556	10,606
未払費用	20,126	21,622
未払法人税等	1,039	676
販売促進引当金	1,544	1,620
役員賞与引当金	44	—
事業構造改善引当金	448	274
その他	7,452	6,973
流動負債合計	72,138	87,839
固定負債		
長期借入金	15,367	5,481
退職給付引当金	9,758	9,350
事業構造改善引当金	105	105
その他	5,646	5,689
固定負債合計	30,877	20,627
負債合計	103,016	108,466
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,773	7,773
資本剰余金	7,442	7,446
利益剰余金	120,469	122,858
自己株式	△26,474	△26,446
株主資本合計	109,211	111,632
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,045	5,866
繰延ヘッジ損益	△41	—
為替換算調整勘定	△919	593
その他の包括利益累計額合計	5,085	6,460
少数株主持分	2,050	2,953
純資産合計	116,347	121,045
負債純資産合計	219,363	229,511

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	72,953	78,415
売上原価	41,752	44,014
売上総利益	31,201	34,401
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	6,846	7,261
販売促進費	9,343	10,189
販売促進引当金繰入額	67	76
広告宣伝費	3,070	2,946
退職給付引当金繰入額	383	403
その他	10,071	9,710
販売費及び一般管理費合計	29,781	30,587
営業利益	1,419	3,813
営業外収益		
受取利息	55	61
受取配当金	330	306
その他	361	349
営業外収益合計	748	717
営業外費用		
支払利息	57	64
為替差損	139	—
繰延ヘッジ損益取崩額	64	67
その他	271	128
営業外費用合計	533	259
経常利益	1,634	4,271
特別利益		
投資有価証券償還益	—	611
投資有価証券売却益	—	312
特別利益合計	—	923
特別損失		
災害による損失	253	29
投資有価証券評価損	402	—
事業構造改善費用	82	24
その他	39	—
特別損失合計	776	53
税金等調整前四半期純利益	857	5,140
法人税、住民税及び事業税	285	935
法人税等調整額	89	558
法人税等合計	375	1,493
少数株主損益調整前四半期純利益	482	3,647
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△203	94
四半期純利益	686	3,552
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△203	94
少数株主損益調整前四半期純利益	482	3,647

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△350	△179
繰延ヘッジ損益	40	41
為替換算調整勘定	857	2,026
その他の包括利益合計	547	1,889
四半期包括利益	1,030	5,536
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,055	4,927
少数株主に係る四半期包括利益	△24	608

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益及び包括利 益計算書計上 額(注)3
	菓子	冷菓	食品	牛乳・ 乳製品	畜産加 工品	食品 原料	計				
売上高											
外部顧客への売上高	18,401	17,060	5,808	22,636	5,538	2,241	71,687	1,266	72,953	-	72,953
セグメント間の内部売 上高又は振替高	0	-	-	46	60	34	141	678	820	△820	-
計	18,401	17,060	5,808	22,683	5,599	2,276	71,829	1,944	73,774	△820	72,953
セグメント利益又は損失 (△)	△252	1,720	△159	390	△175	169	1,693	13	1,706	△286	1,419

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、スポーツフーズ部門、オフィスグリコ部門、システム保守開発事業部門及び倉庫事業部門を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△286百万円には、セグメント間取引消去・その他調整額△43百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△243百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益及び包括利 益計算書計上 額(注)3
	菓子	冷菓	食品	牛乳・ 乳製品	畜産加 工品	食品 原料	計				
売上高											
外部顧客への売上高	22,215	18,775	5,043	23,454	5,229	2,334	77,051	1,364	78,415	-	78,415
セグメント間の内部売 上高又は振替高	151	-	-	40	56	72	320	789	1,110	△1,110	-
計	22,367	18,775	5,043	23,495	5,285	2,406	77,372	2,153	79,526	△1,110	78,415
セグメント利益又は損失 (△)	970	1,688	△285	895	260	144	3,674	67	3,741	72	3,813

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、スポーツフーズ部門、オフィスグリコ部門、システム保守開発事業部門及び倉庫事業部門を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額72百万円には、セグメント間取引消去・その他調整額208百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△136百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。